

# 業界イメージレポート －ファーストフード編－

2015年10月  
株式会社リクルートジョブズ  
ジョブズリサーチセンター

## 業界イメージレポート－ファーストフード編－とは

「業界イメージレポート」は、特定の業界に対してもっているイメージについて、個人側と企業側に調査した結果をまとめています。本レポートは中でも、飲食業界のファーストフードを対象としたものです。

個人側は4セグメントに分かれます。現在就業している「A. 就業者」、過去に就業経験がある「B. 離職者」、ファーストフードでの就業経験はないが就業に興味関心はある「C. 意向者」、ファーストフードでの就業経験がなく就業に興味関心もない「D. 非意向者」です。企業側は店長以上の役職の方を対象としています。

ファーストフード（飲食）業界全体に共通する魅力、もっと高められる魅力を理解する手がかりとしてご活用ください。

### 【目次】

回答者プロフィール	2
A. 就業者と企業側	3
正社員と正社員以外	5
B. 離職者と企業側	7
C. 意向者とD. 非意向者	9

## 調査概要

- ・調査名：特定業種に関する調査
- ・調査目的：求人と求職の需給ギャップがある特定業種における、労働者側と企業側双方の実態を把握し、今後解決策を模索する上での基礎資料とすること。
- ・調査方法：インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用）
- ・調査期間：2015年3月25日（水）～3月29日（日）
- ・調査対象：20～59歳までの男女（全国）
  - 個人側
    - －現在、対象業種に従事している人
    - －過去に対象業種に従事したことがある人
    - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がある人
    - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がない人
  - 企業側
    - －現在、対象業種に勤務しており、職位が管理職（店長）・経営層、かつ人事（採用）または総務業務を担当している人

セグメントごとの回答者数は下の表のとおり。本レポートの対象はファーストフードの、計900人。

		個人側				企業側
		就業経験者		就業非経験者		
		A. 就業者	B. 離職者	C. 意向者	D. 非意向者	
飲食店	ファーストフード	102	368	200	200	30
	居酒屋	118	337	200	200	37
	介護サービス	188	186	200	200	142
	ドライバー	195	188	200	200	141

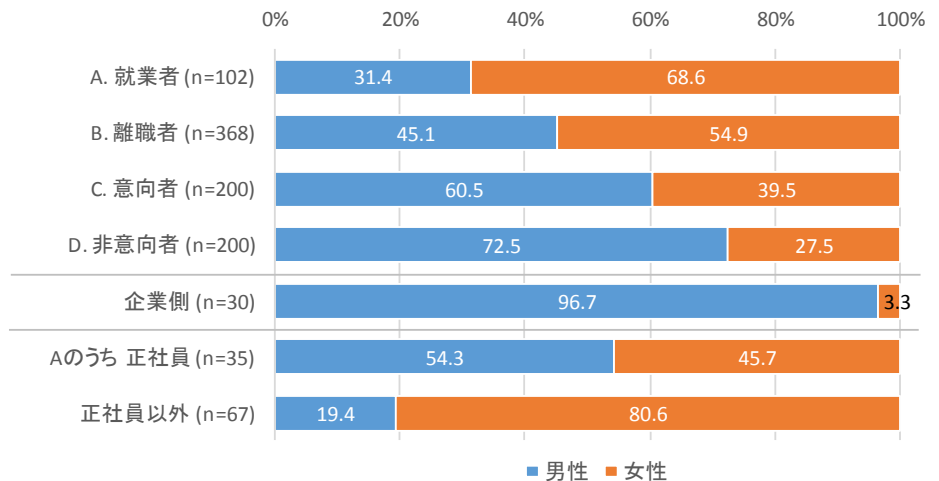
※ なお、四捨五入の関係で数表内の%の合計が100とならない場合がある。

## 回答者プロフィール

### ■ 性別

回答者の性別分布は、右のグラフのとおり。A.就業者は女性が約7割である一方、企業側は男性が9割以上を占める。

A.就業者のうち、正社員※1では、5割以上が男性、正社員以外※2では約8割が女性となっている。



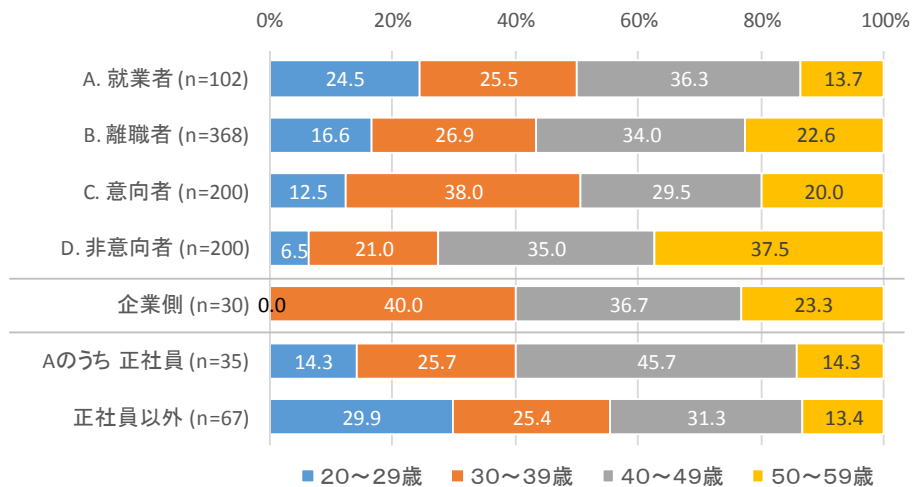
### ■ 年齢

回答者の年齢分布は、右のグラフのとおり。

A.就業者は40代が36.3%でもっとも多く、30代、20代がそれぞれ25%程度。

企業側は30代が40.0%でもっとも多く、40代がそれに続く。

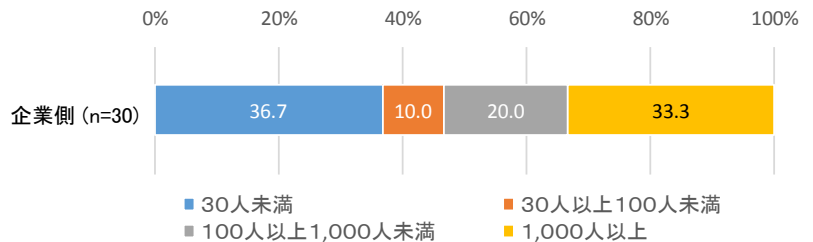
A.就業者のうち、正社員では40代が、正社員以外では20代が比較的多い。



### ■ 従業員規模

企業側の勤務先従業員規模は、右のグラフのとおり。

30人未満が36.7%と、少人数で経営しているファーストフードがある一方、1,000人以上が33.3%と、大規模な企業も多い。



※1 自営業者等を少数含む。

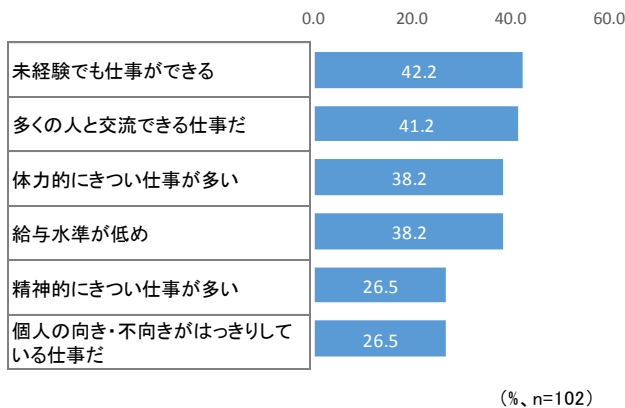
※2 パート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。なお、正社員以外のうち学生アルバイトは3.0%。

## 業界イメージ 1

### A. 就業者と企業側

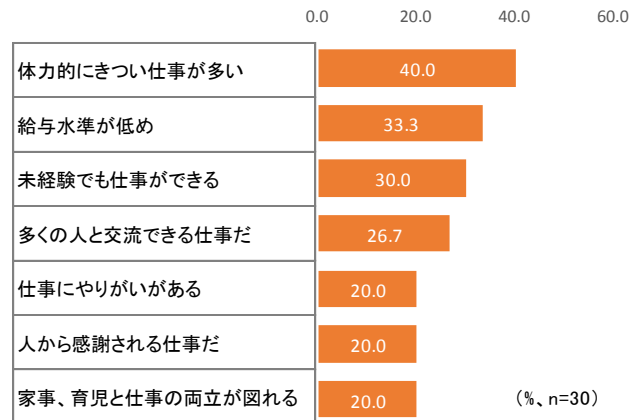
#### A. 就業者の上位5項目

現在就業者にファーストフードのイメージを聞くと、「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」とポジティブなものが上位に挙がった。ただしその後は「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」と続く。



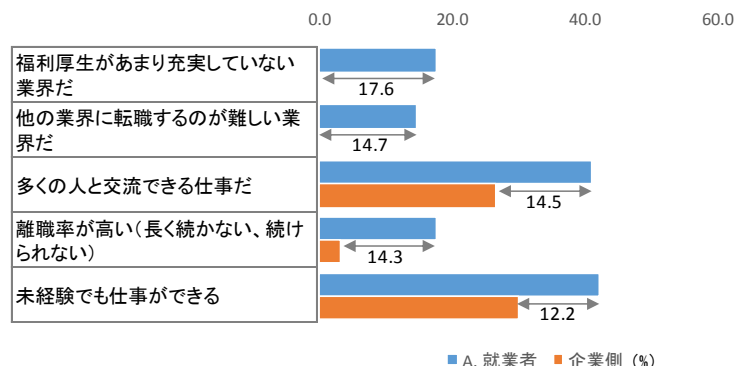
#### 企業側の上位5項目

企業側にイメージを聞くと、「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」の割合が高かった。「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」というポジティブなイメージは、就業者と共通している。



#### A. 就業者と企業側のギャップが大きい5項目

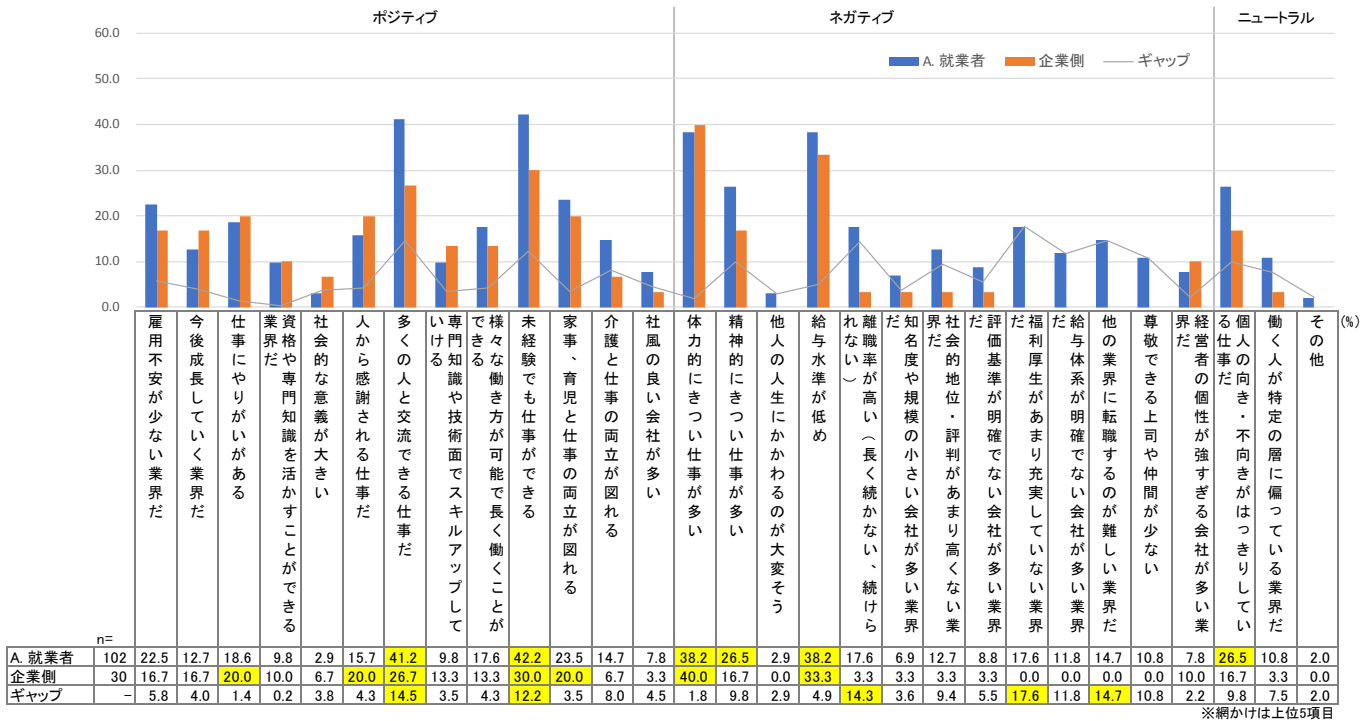
「福利厚生があまり充実していない業界だ」「他の業界に転職するのが難しい業界だ」は企業側に認識がなく、ギャップが大きくなっている。一方、「多くの人と交流できる仕事だ」は就業者の方がポジティブにとらえている。



## A. 就業者と企業側

【A. 就業者】 Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／飲食サービスの仕事（ファーストフード（接客や調理））（MA）

【企業側】 Q. あなたがお勤めの会社や、お勤めの業界のイメージとして、世の中の人や求職者に、どのように思われていると思いますか。あてはまると思われるものをお選びください。（MA）



ファーストフード（飲食）業界についてどのようなイメージをもっているか、現在ファーストフードで働いている就業者と、企業側に聞いた。

就業者は「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」とポジティブなイメージの割合が高いが、「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」といったネガティブなイメージももっている。

企業側にイメージを聞くと、上位の項目は就業者とほぼ同じだが、企業側では「仕事にやりがいがある」も上位に挙がっている。

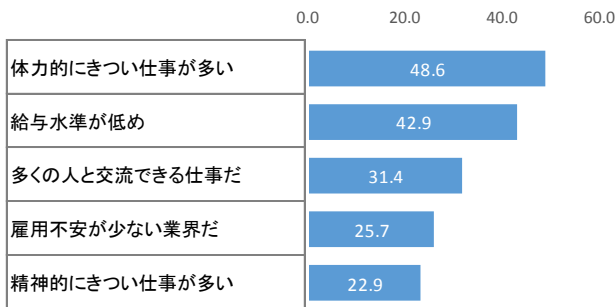
両者のギャップを見ると、「福利厚生があまり充実していない業界だ」「他の業界に転職するのが難しい業界だ」などは企業側に認識がなく、ギャップが大きい。一方で、「多くの人と交流できる仕事だ」は就業者の方がポジティブにとらえている。

## 業界イメージ 2

# 正社員と正社員以外（A. 就業者）

### 正社員の上位5項目

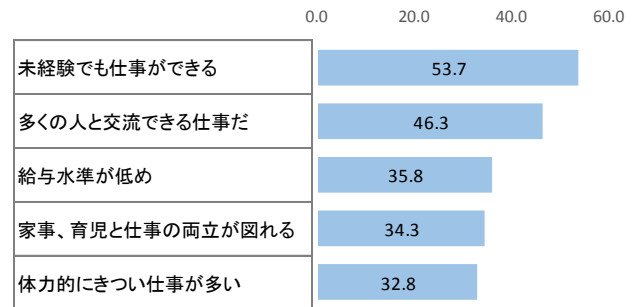
正社員がもつイメージは、「体力的にきつい仕事が多い」がもっとも高く、「給与水準が低め」がそれに続く。「雇用不安が少ない業界だ」以外は、就業者全体の上位項目と同じとなっている。



(%, n=35)

### 正社員以外の上位5項目

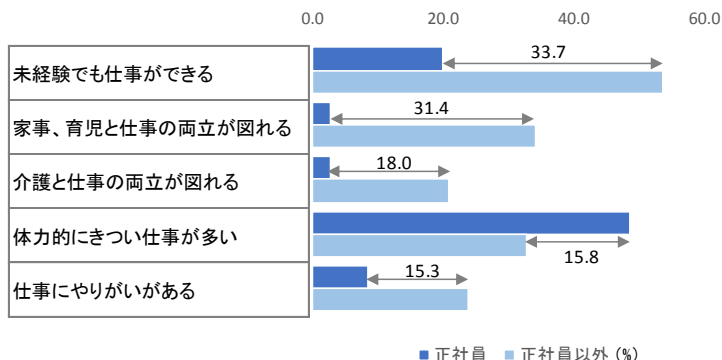
「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」「家事、育児との両立が図れる」と、上位5項目のうち3つがポジティブなイメージ。企業側同様、「家事、育児と仕事の両立が図れる」が上位に入っている。



(%, n=67)

### 正社員と正社員以外のギャップが大きい5項目

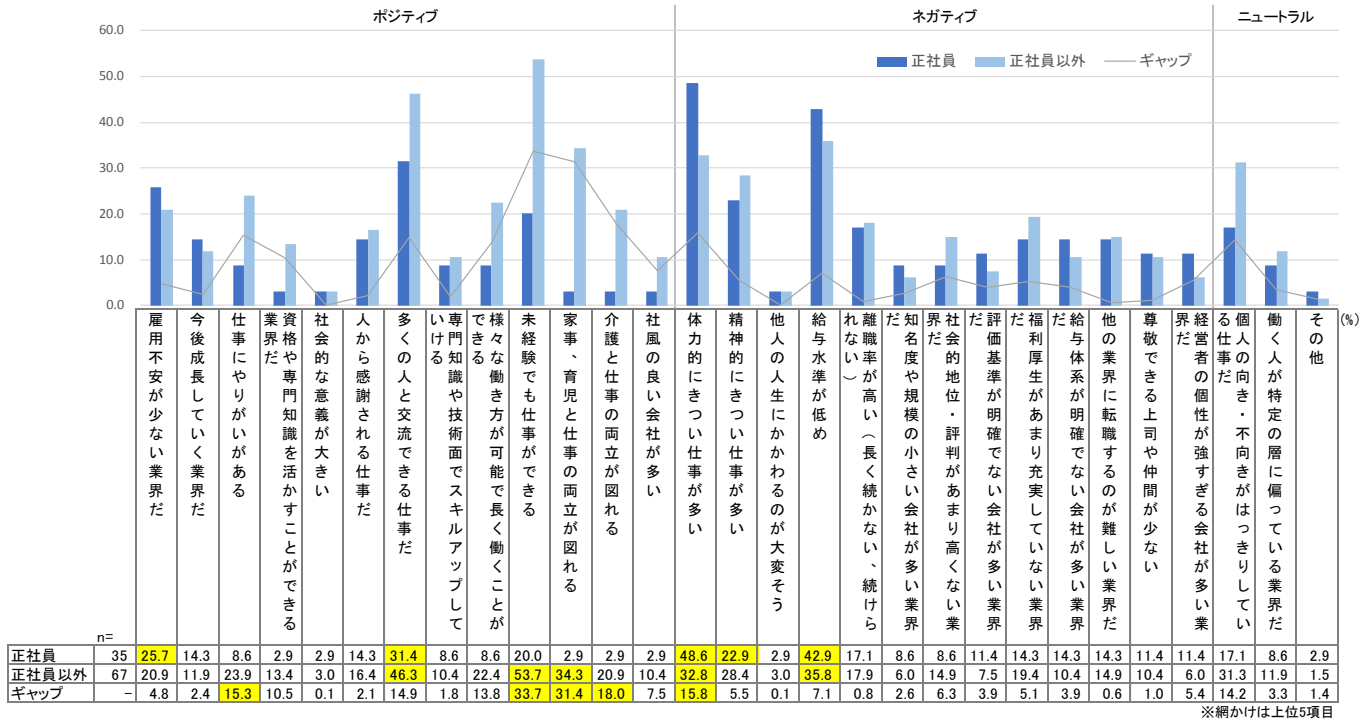
「未経験でも仕事ができる」「家事、育児と仕事の両立が図れる」「介護と仕事の両立が図れる」「仕事にやりがいがある」というポジティブな4項目で、正社員以外の方が割合が高く、ギャップが大きい。「体力的にきつい仕事が多い」は、正社員の方が割合が高い。



■ 正社員 ■ 正社員以外 (%)

正社員と正社員以外 (A. 就業者)

【A. 就業者】 Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／飲食サービスの仕事（ファーストフード（接客や調理））（MA）



正社員※と正社員以外に分けて見てみよう。（※自営業者等を少数含む。）

正社員がもつイメージは、「体力的にきつい仕事が多い」がもっとも高く、「給与水準が低め」がそれに続く。一方で正社員以外では、「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」「家事、育児との両立が図れる」と、上位5項目のうち3つがポジティブなイメージである。

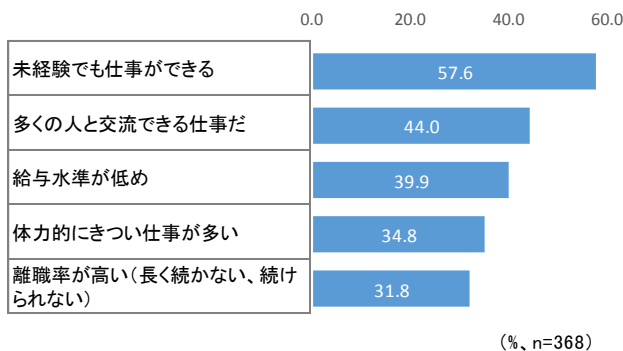
ギャップが大きい項目を見ると、「未経験でも仕事ができる」「家事、育児と仕事の両立が図れる」「介護と仕事の両立が図れる」「仕事にやりがいがある」というポジティブな項目で、正社員以外の方が割合が高く、ギャップが大きい。「体力的にきつい仕事が多い」は、正社員の方が割合が高い。

特に「家事、育児と仕事の両立が図れる」「介護と仕事の両立が図れる」は正社員は2.9%と低く、正社員はほとんどそのイメージをもっていないとわかる。今後は、正社員についてもワークライフバランスの充実を図る必要があるかもしれない。

## 業界イメージ 3 B. 離職者と企業側

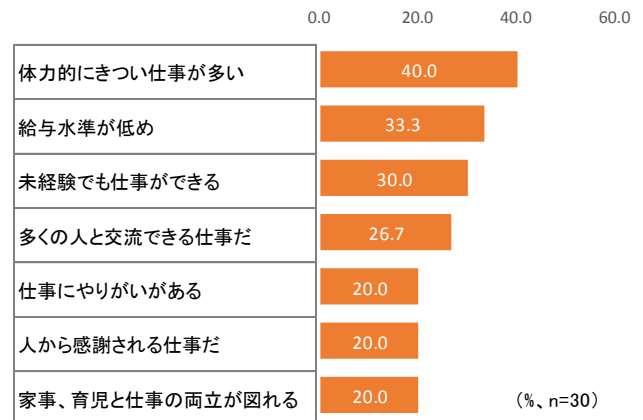
### B. 離職者の上位5項目

ファーストフードについて離職者がもつイメージは「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」など、就業者や企業側と同じ項目で割合が高い。一方で、「離職率が高い」も上位に挙がっている。



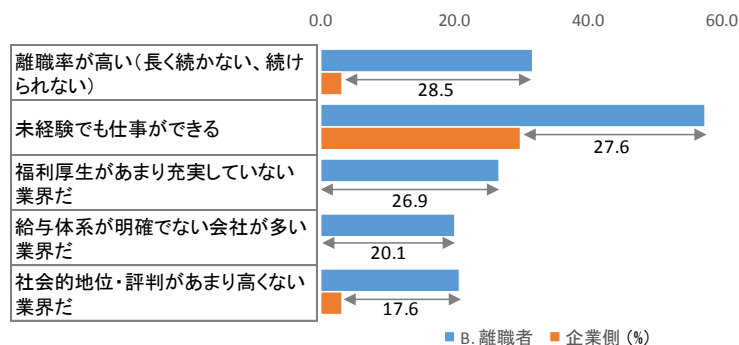
### 企業側の上位5項目

企業側がもつイメージのうち、「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」は離職者と共通している。



### B. 離職者と企業側のギャップが大きい5項目

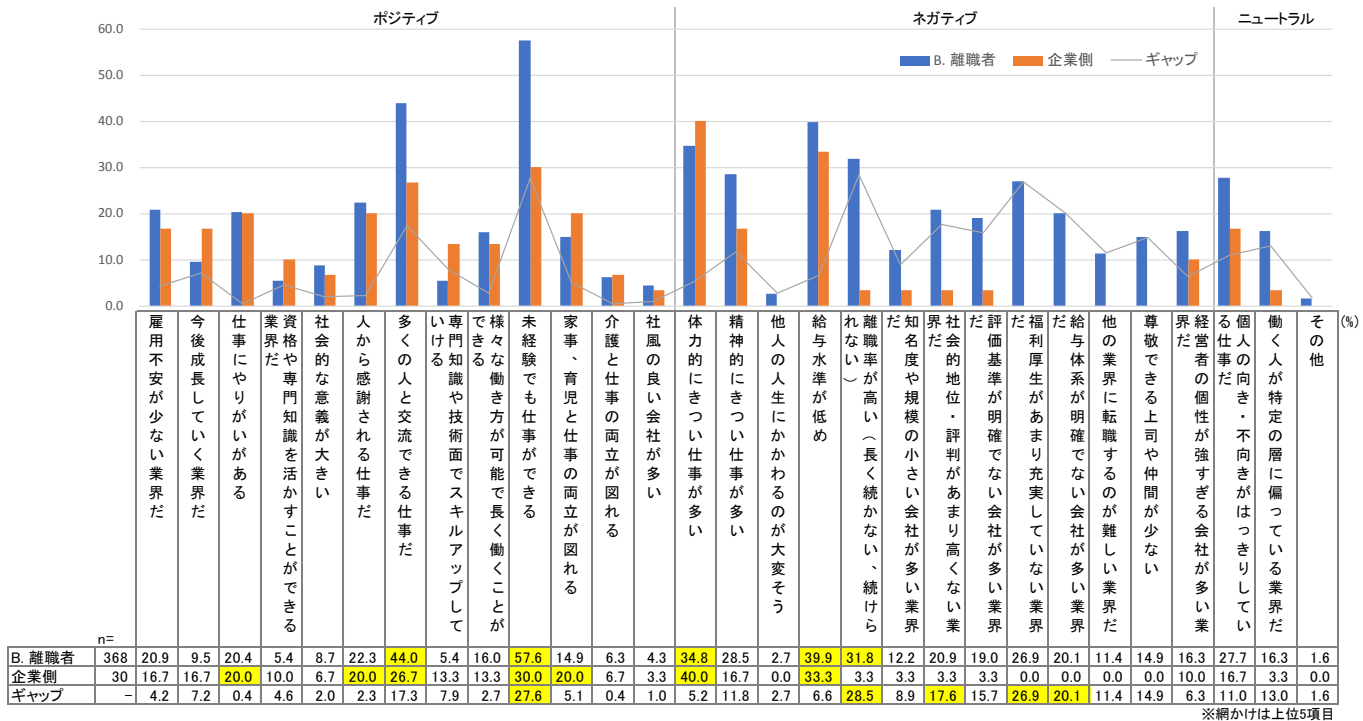
ギャップが大きい5項目は、いずれも離職者の方が割合が高くなっている。「未経験でも仕事ができる」以外はネガティブなもので、企業側で認識が低くギャップが大きい。





## B. 離職者と企業側

【B. 離職者】 Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／飲食サービスの仕事（ファーストフード（接客や調理））（MA）  
 【企業側】 Q. あなたがお勤めの会社や、お勤めの業界のイメージとして、世の中の人や求職者に、どのように思われていると思いますか。あてはまると思われるものをお選びください。（MA）



離職者と企業側にファーストフードのイメージを聞いた。

離職者がもつイメージは「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」「給与水準が低め」「体力的にきつい仕事が多い」と、就業者や企業側と同じ項目で割合が高い。一方で、「離職率が高い」も上位に挙がっている。

企業側がもつイメージ上位のうち、「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」は離職者と共通している。

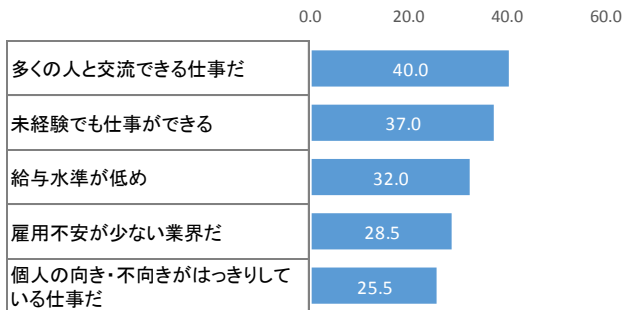
ギャップが大きい項目は、「福利厚生があまり充実していない業界だ」「給与体系が明確でない会社が多い業界だ」「社会的地位・評判があまり高くない業界だ」などのネガティブなものが目立ち、離職者の方が割合が高くなっている。福利厚生については就業者と企業側の比較でもギャップが大きく、福利厚生の充実はもちろん、就業者や意向者への事前説明を丁寧にして、理解を得ることも必要かもしれない。

## 業界イメージ 4

### C. 意向者とD. 非意向者

#### C. 意向者の上位5項目

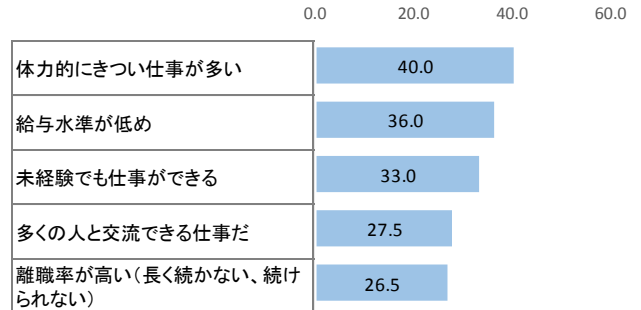
意向者のファーストフードに対するイメージは「多くの人と交流できる仕事だ」「未経験でも仕事ができる」など、就業者と共通の項目が上位になっている。「雇用不安が少ない業界だ」は就業者の正社員と共通している。



(%, n=200)

#### D. 非意向者の上位5項目

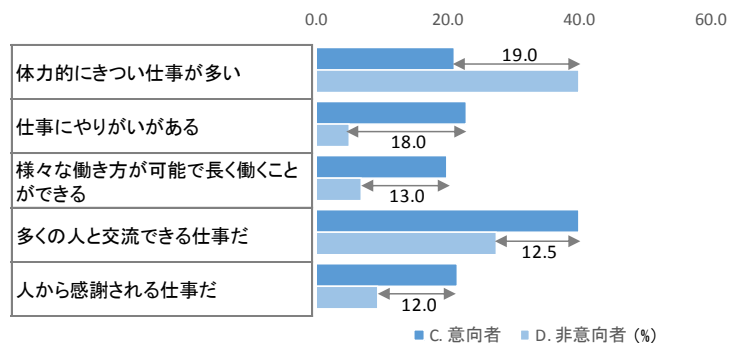
非意向者にファーストフードのイメージを聞くと、「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」がまず挙がっている。一方で「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」は意向者と同じく上位に挙がる。



(%, n=200)

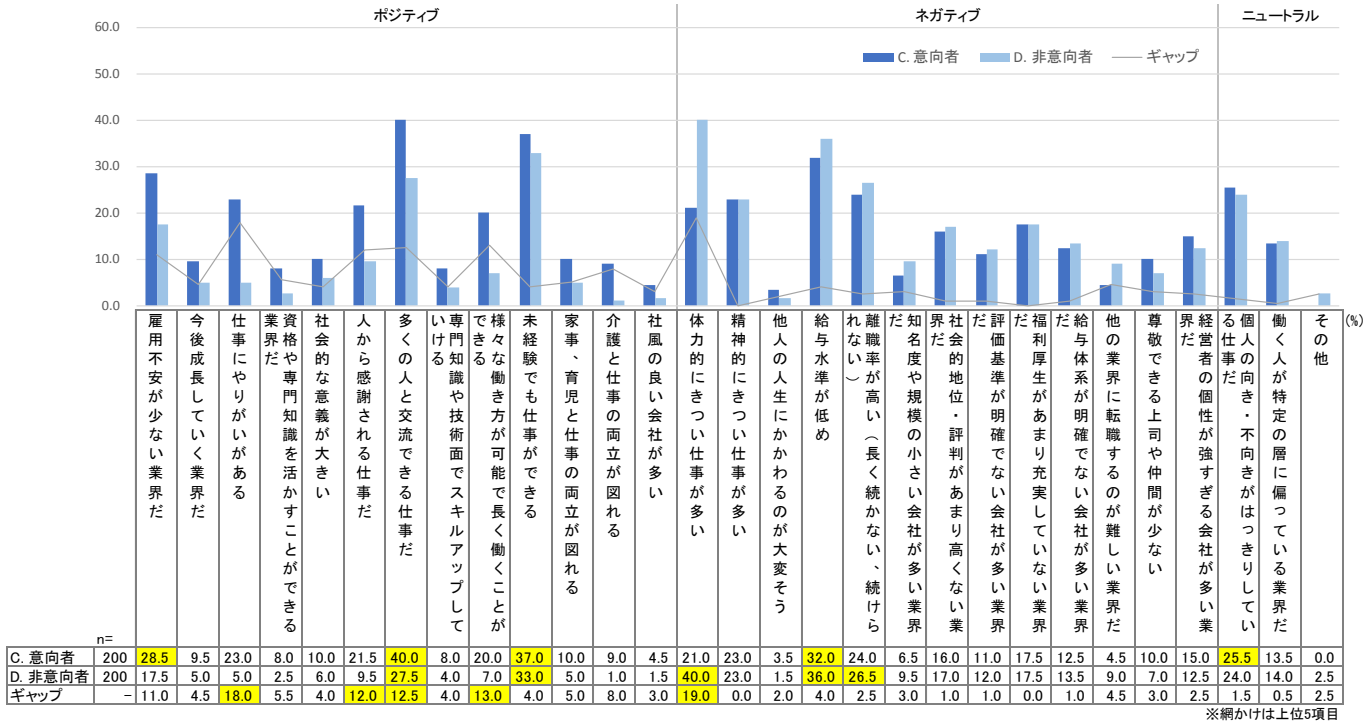
#### C. 意向者とD. 非意向者のギャップが大きいもの

「体力的にきつい仕事が多い」は非意向者の方が高く、ギャップがもっとも大きい。他はポジティブなもので意向者の方が高く、「様々な働き方が可能で長く働くことができる」などが上位に入っている。



## C. 意向者とD. 非意向者

【C. 意向者、D. 非意向者】Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／飲食サービスの仕事（ファーストフード（接客や調理））（MA）



意向者と非意向者に、ファーストフードのイメージを聞いた。

意向者のファーストフードに対するイメージは「多くの人と交流できる仕事だ」「未経験でも仕事ができる」など、就業者と共通の項目が上位になっている。

非意向者では、「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」というネガティブなイメージがまず挙がっている。一方で「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」は意向者と同じく上位に挙がる。

ギャップを見ると、離職者でも上位になっている「体力的にきつい仕事が多い」は非意向者が高く、ギャップがもっとも大きい。「仕事にやりがいがある」「人から感謝される仕事だ」「様々な働き方が可能で長く働くことができる」は、意向者では割合が高いが非意向者では10%以下で、ギャップが大きい。